

1 令和2年1月1日 新年互礼会

年明けの一品神社境内に多くの住民皆様の御参会を頂き、恒例の「新年互礼会」が執り行なわれました。自治会長の年頭挨拶は以下のとおりです。

「新年互礼会にご参会頂きました皆様、新年明けましておめでとうございます。

ご家族お揃いで、健やかに新年をお迎えになられた事とお慶び申し上げます。さて、昨年を振り返りますと、世界では終りの見えない悲惨な地域紛争や、地球温暖化がもたらす気候変動、また自国第一主義台頭による国際協調の後退等のニュースが流れ、先き行きの不透明感は否めません。

国内では元号が平成から令和に変わり、時代の節目となる宮中慶事が厳かに執り行われる一方、集中豪雨や度重なる台風により日本各地で大きな災害が発生し、沢山の尊い生命や財産が失われました。幸いにも当地方は、一品神社のご加護のお陰で大きな災害に見舞われる事無く、新しい年が迎えられました事を皆さんと共に感謝したいと思います。

このような中で、石原を取り巻く動向としましては、由良川築堤工事に合わせた大谷川拡幅関連の工事用道路建設が奥ノ貝まで延伸しました。水害の無い石原が一日でも早く実現出来ますよう引き続き遷喬開発協議会と連携し、大谷川拡幅工事の早期完成に向け取り組んで参ります。

舞鶴若狭自動車道4車線化工事は令和3年3月末竣工に向け、急ピッチで工事が進行しています。自治会としましては、引き続き工事の安全対策に注視していくと共に、竣工後の石原自然公園周辺の復旧や、溜池の調整池化にも取り組んでいく所存です。

認可地縁団体案件につきましては、昨年6月に検討委員会を立ち上げ、石原の進むべき方向性を探るべく検討作業を進めて参りました。今月12日の初集会には公会堂の無償譲渡申請について自治会提案する予定です。住民の皆様には都度情報を発信しながら進めて参りますので、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

今申し上げました重要案件は時期の違いはあれ、やがては解決出来るものと思われませんが、石原にとりまして懸念されます問題は、自治会を始めとする諸団体役員の成り手不足と住民意識の希薄化が上げられます。年金受給開始年齢の引上げに伴い、退職年齢が今以上に伸びる事が予想され、団体役員の確保は益々難しくなるものと思われれます。今、私達が取り組むべき事は、働きながら団体役員の仕事が遂行出来る環境づくり、言い換えますと、役員構成の見直しと業務の簡素化について、真剣に取り組む事が諸団体に求められています。また、住民一人一人には、昨年

流行語大賞になりました「ONE TEAM」の一員であるという自覚を持つ事と、団体役員分担の平等化への理解と協力を仰ぐ以外に解決の道は無いと考えます。

昨年日本で開催された「ワールドカップラグビー」に出場した体幹で劣る全日本チームが、事前の予想を覆しベスト8まで勝ち上がったのは、選手・指導者・スタッフ等が「ONE TEAM」の下、結束した結果であったと言われています。家庭の団欒や集会等の機会を利用して、「石原のあるべき姿」を話題に取り上げて頂きますよう切にお願いする次第です。

終りに、今年の夏には56年振りに平和の祭典「東京オリンピック」が開催されます。災いが無く、スポーツや文化面等で国民が喜びを分かち合える善き年である事を願いますと共に、本日ご参会頂きました皆々様とご家族様のご健勝ご多幸をご祈念申し上げまして、年頭の挨拶とさせていただきます。」

2 令和2年1月12日 自治会主催「初集会」

石原公会堂に74名の会員皆様にご出席頂き、自治会初集会が開催されました。

初集会の概要は以下のとおりです。

(1) 第1号議案 2019年初集会提案議題の取組結果報告

31件の取組結果報告に対する質疑応答は無く、第1号議案は承認されました。

(2) 第2号議案 令和2年初集会提案議題の取組方針

25件の取組方針に対する質疑応答後、第2号議案は承認されました。

(3) 第3号議案 自治会提案

「石原道路会計規約制定の事後承認について」「石原公会堂の譲渡申請について」「自治会費改定の凍結について」「令和2年度新三役及び自治会段役員の選出方法について」以上4件は質疑応答後、承認されました。

3 当面の行事予定

◇ 2月1日(土)19時半～第5回組長(オーナー)会議

◇ 2月9日(日)8時半～選挙総会

13時～ 第4期自治会費集金(手当支払い)

◇ 2月23日(日)19時半～段別集会

◇ 3月15日(日)8時半～決算総会

